

外国人のための「日本の家庭料理」



市内や近隣に在住する外国人を対象に、日本の家庭料理教室を開催しています。

日本語教室日本文化体験スペシャルデー



「外国人のための日本語教室」の一環で、年に一度、行っています。在住外国人に、浴衣で、お茶や琴、三味線の演奏、カルタ、折り紙等を楽しんでもらいます。

世界の文化を知ろう！

外国人講師や海外滞在経験のある講師が、外国文化の紹介を行います。



国際交流パーティー

「いい出会い いいふれあい いい未来」をテーマに、市内や近隣に在住する外国人と日本人が軽食とソフトドリンクを楽しみながら、交流と理解を深めます。



外国人による日本語スピーチコンテスト

市内や近隣に在住、在勤、在学する15歳以上・在日5年以内の外国人が、感じたこと、気がついたこと、思ったことなど自由なテーマで、スピーチをします。



ホストファミリー 募集

外国からの訪問者や海外で日本語を教える外国人日本語教師の方を受け入れるホストファミリーを募集しています。日本語で会話ができるホームステイの受入れは、気軽に参加でき、交流を深めることができます。土・日曜日の1泊2日でお願いします。平成23年度は、27人の外国人を受け入れました。宿泊用に個室を用意していただける方は、ホストファミリーになって、身近な国際交流を試みませんか！

国際交流人材リスト登録者 募集

外国語の語学講座のネイティブ講師や通訳・翻訳、料理、踊り等の母国文化紹介等で、ご協力いただける方は、国際交流人材リストへのご登録をお願いします。

会員・部会員の募集

協会では、会員を募集しています。会員には、会報の送付や特典を用意しています。会費は年間個人会員1,000円、団体・法人会員10,000円です。協会には、企画部会、交流部会、広報部会、総務部会の4つの部会があります。部会員は、協会事業の企画運営に積極的に携わっています。パーティー等の交流事業にお手伝いいただける方、会報やホームページの編集にご協力いただける方は、ぜひ、協会へ入会して、部会員として、国際交流事業に参加してみませんか。



姉妹都市 インバーカーギル市

熊谷市とインバーカーギル市は、平成5年4月20日に姉妹都市提携をしました。インバーカーギル市は、ニュージーランドの南島の最南端に位置するスコットランド風の町並みがとても美しく、豊かな自然と文化に育まれた伝統のある都市です。毎年、行政・教育等、各方面で活発な交流を行っています。

熊谷市国際交流協会ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~kumagaya-kokusaikoryu/>



熊谷市国際交流協会は 創立20周年を迎えました

創立20周年記念フェスティバル
とき：4月8日(日) 10時~16時
ところ：文化センター 文化会館

◆協会事務局：広報広聴課 ☎内線220



ニュージーランド・マオリの民族舞踊ハカヤ
ハワイアン・バンドのステージを楽しみ、世界の料理を味わえるんだにゃ。

中高生ホームステイツアー

夏休み期間に、姉妹都市ニュージーランド・インバーカーギル市を訪れ、ホームステイをしながら、現地中高一貫校へ通い、英語研修等を行うものです。平成5年の姉妹都市提携以来、ほぼ毎年実施しており、これまでに約480人が、このホームステイツアーに参加しています。今年も夏に実施を予定しています。

青少年の頃から、外国の文化に触れ、国際感覚を身につけることは、貴重な経験となります。



国際交流バスツアー

市内や近隣に在住する外国人と市民との交流を推進するため、日帰り、日本の代表的な観光地を訪れる国際交流バスツアーを行っています。



外国語 語学講座

外国人講師により、英語、中国語、韓国語、スペイン語等の外国語講座を開講しています。



フォト ニュース



チーム一丸！たすきリレー

1月21日、第25回熊谷めぬま駅伝大会が開催されました。みぞれも時折り交じる空模様の中、ランナーは必死に次の走者にたすきを繋ぎました。また、沿道での暖かい声援もランナーの大きな力になりました。



旬の食材大収穫

1月15日・22日、「グリーンツーリズム イン 妻沼」が行われ、真冬に旬を迎えるネギやヤマトイモの収穫と「吟子鍋」を作りました。また、午後からは荻野吟子記念館や聖天山などの名所旧跡を訪れました。



星川通りで縁起物

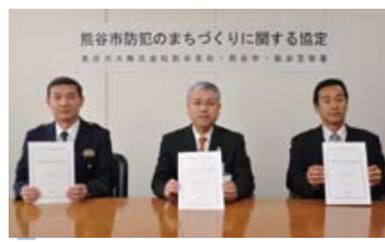
2月8日、星川だるま市が若者広場で開催されました。どんな苦難にあっても七転八起の縁起物を求めて多くの方が訪れました。



今年も一年、福よ来〜い！

節分の2月3日、妻沼聖天山と高城神社で恒例の豆まき・福まきが行われました。会場では福を求める多くの皆さんで賑わいました。

写真上 妻沼聖天山 下 高城神社



防犯のまちづくり協定を締結

2月13日に東京ガス株式会社熊谷支社と防犯協定を結びました。二輪車等も合わせて約70台の車両が市・熊谷警察署と連携をし、防犯活動に携わっていただくことになりました。



放水開始！地域で守ろう文化財

1月26日、文化財防火デーに合わせ、国重要文化財「平山家住宅」にて初期消火訓練が行われました。平山家住宅保存会を中心とした地元住民の皆さんと、今回はものづくり大学の学生約50名が実地学習として参加しました。



坂東太郎 利根川と熊谷市

シリーズ 荒川・利根川 第7回(最終回)

企画課 内線228

荻野吟子(日本公許登録女医1号)生誕の地 荻野女史は、江戸時代末期の嘉永4年(1851年)3月31日に、武蔵国幡羅郡俵瀬村(熊谷市俵瀬)に生まれました。俵瀬は、利根川河畔にあり、生誕の地は、「荻野吟子生誕之地史跡公園」として整備され、公園のすぐ北側は、利根川の堤防で利

根川サイクリングロードとなっています。 荻野女史は、18歳で結婚しますが、病に冒され2年後に離婚します。この治療の際の屈辱的な体験により、女医の必要性を痛感し医師となる決意をします。当時は女性に医師の道は閉ざされていきました。しかし、数々の困難を克服し、1885年(明治18年)、医師開業試験に合格し、日本公許登録女医1号となり、35歳で東京の本郷湯島で開業しました。現在、「埼玉ゆかりの三偉人」になっています。また、対岸の群馬県千代田町赤岩にある「光恩寺」には、国の登録有形文化財に指定された荻野吟子生家長屋門(江戸末期建築)があります。

千代田町へは、動力船「新千代田丸」等2隻が運行しており、県道83号熊谷館林線上にあるため無料で利根川を渡ることが出来ます。船は千代田町側にあり、黄色い旗を上げると熊谷側渡船場(通称、葛和川の渡し)に迎えに来ます。



利根川の利用

利根川に生きた人々の名残を今に伝える伝統行事の一つに、市の無形文化財に指定され、関東三大あばれ神輿の一つとされている大杉神社の「あばれ御輿」があります。大杉囃子の行列とともに練り歩き、途中、利根川に入り神輿の上で猛者達が入り込み、勇壮な姿を見せつけます。東の大杉様に対し、西のあばれ神輿として「出来島八坂神社の祭り」があります。利根川に入り、立てたとんぼの上から川面にとびこむ姿

は、勇壮で、県下有数の奇祭として知られています。葛和川から下流の利根大堰にかけては、年間を通してウォータースポーツを楽しめる広大な水面となっています。水上バイク、モーターボート、カヌー、更に砂採取船や釣り人もおり、多くの利用が行われています。さらに、河川敷は、ゴルフ場、サッカー場、グライダー場等にも利用され、多種多様なスポーツ、憩いの場として利用されています。 これまで、7回シリーズで荒川と利根川について紹介しました。 「母なる川・荒川」と「坂東太郎・利根川」を中心とした豊かな自然、歴史と伝統はぐくまれた郷土に誇りと希望を持って生き生きと生活することが出来る都市を目指していきます。



市報クイズ 1月号で寄せられたご意見を紹介します。 おたよりパレット テーマ 引越しの思い出 慣れ親しんだ街から離れるのは、寂しい気持ちがありますね。しかし、新しい土地での出会いや住み心地のよさに、今では満足しているという意見をいただきました。 ※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています▶http://www.city.kumagaya.lg.jp/ ●学生の時、一人暮らしをするため、初めて引越しをしました。実家から出るのは初めてだったので、とても寂しい気持ちになったことを今でも覚えています。(30代・女性) ●10年ほど前のことですが、7月末に引越しすることになりました。しかし、あまりの暑さでアルバイトの大学生ふたりが途中で帰ってしまいました。終わったのは、なんと夜中の1時。息子は「引越しの仕事だけはしない。」と言っていました。(40代・女性) ●私の引越しは、お嫁に来たこの街、熊谷が初めてです。結婚式の日取りが決まり、式当日から新居へと移りました。やはり、生まれ育った家から初めての引越しでしたので、とても寂しかったです。でも今では、この熊谷市がとても好きになりました。(40代・女性) ●夫が転勤族で、定年まで16回の転居がありました。社宅が主だったので、2~3年毎にいやおうなしに大掃除と引越しがあったのに、自宅ができ、夫も退職した後は家の大掃除も自分で思いついてやる必要があり、引越しを懐かしく感じます。(60代・女性)

応募方法 ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「母の日」についてのコメントを必ず記入のうえ、3月23日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》 〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課 ☎kohokocho@city.kumagaya.lg.jp ※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。 1月号の正解 ①龍原 ②森村誠一 ◆応募総数54通中、正解51通 今月の問題 次の□に入ることばや数字を、それぞれお答えください。 ①熊谷市国際交流協会は創立□周年を迎えました。 ②第22回熊谷□マラソン大会は3月18日(日)に開催されます。 今月のプレゼント マルシェド熊谷 提供の、あつべえすばげってえ(地粉)と熊谷染直実ハンカチを、正解者の中からそれぞれ抽選で50人と5人に差し上げます。 マルシェド熊谷 所在地:星川2-81中村写真館ビル1階 電話:048-527-8400 今月のテーマ「母の日」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。 市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 内線212までお問合せください。

読んで 当てよう 市報クイズ





熊谷市国際交流協会は、市民の皆さんと外国の方の交流のお手伝いをして、活動は主にボランティアで行っています。学生時代から英語や海外に興味をもっていましたが、友人に誘われて協会が開催していた「世界の料理教室」に参加したことが、私の現在の活動の直接のきっかけです。たくさんの仲

人の笑顔が私の笑顔の源

情熱世代 夢追い人

目と目を合わせて、手と手でシェイクハンズ

熊谷市国際交流協会 交流部会長
新井美智栄さん(銀座)

心の交流を大事にしたい

間と一緒に頑張って一つの企画を成功させるのは、達成感や充実感で満たされます。もともと人を喜ばせるのが好きなので、担当した企画に参加した方が笑顔になってくれるのがとても嬉しくて、活動を続けています。

日本文化にも興味を持って

今では、インターネットやメールなどで、顔を見ずにコミュニケーションをとることも可能です。けれど本当に相手と気持ちを通じるのは、目を見て、手と手をとりあう生身の人間としての付き合いだと思っています。中高生ホームステイツアーの引率者として、インバーカーギル市へ行かせていただき、子供たちにふれあうことの大切さ、尊敬と感謝の気持ちの大切さを伝えてきました。外国で2週間がんばっている子供たちをサポートしていると、ホストファミリーの方と心の交流ができるようになり、成長した姿を見られるので感動します。

これからの国際社会の中で活躍される子供たちにとって、外国の方と交流するうえで、自国の文化を知ることが非常に大事なことです。ですから、子供たちには、ぜひ日本文化



2列目右から2人目が新井さん

を知ってもらいたい。日本文化の素晴らしさを日本人に知ってもらおうのも、国際交流のための一つの仕事であると思っています。

4月には、協会の創立20周年記念フェスティバルを開催します。多くの方に参加していただき、これまで参加したことがなかった方が、「来てよかった。」「これから活動をしていきたい。」と思えるイベントにできると嬉しいです。このイベントをこれまでの集大成としてだけでなく、これからの協会のはじまりにしていきたいです。

外国語が話せなくても、外国に行ったことがなくても、日本の心を持った方ならどなたでも大歓迎です。ぜひ、これをきっかけに協会に興味を持っていただき、気軽に交流を楽しんでください。

熊谷市国際交流協会の活動については、28・29ページをご覧ください。

RUGBY WORLD CUP 2019年にラグビーワールドカップが日本にやってくる! 第3回

(C)2011,JRFU(photo by H.Nagaoka)

第3回ワールドカップが終了した後、IRB理事会でアマチュア規定の撤廃が決定され、ラグビーは大きな変革を迎えました。各国協会は、アマチュア規定を遵守する道、プロ化を認める道、別の道などを選んで自由な規則を作れることになり、プロ、アマ混合の時代がスタートすることになりました。

1996年からは、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカが、国内にプロチームを作って戦うスーパークラブ選手権「スーパー12」(2011年からスーパー15に拡大)が開幕し、ラグビーのプロ化を牽引しています。

アマチュア規定撤廃後の初めてのワールドカップは、1999年にウェールズで開催された第4回大会でした。大会出場チームも20に増え、オーストラリアが二度目の優勝を果たしました。

この大会以降、各国代表チームの強化は、4年の

サイクルで動くことになりました。第5回大会は、オーストラリアで開催され、イングランドが初めての優勝を成し遂げました。第6回大会は、フランスで開催され、南アフリカが二度目の優勝を飾りました。

昨年の第7回大会は、ニュージーランドで開催され、ニュージーランドが第1回大会以来の優勝を果たしました。

日本代表は、1回大会から連続して出場し、24戦して1勝21敗2分の成績で、すべて予選プールで敗退していますが、現在の日本代表の実力は、IRBによる1月末のランキングで15位となっており、世界のベスト10に迫っています。

【次回は5月号に掲載します】



(左) 熊谷ラグビー場



(右) ラグビーワールドカップ2011で3試合が開催された熊谷市と姉妹都市のインバーカーギル市にあるラグビー・パークスタジアム

◆スポーツ振興課 ☎内線391

人口と世帯

●平成24年2月1日現在 (対前月比)

■人口 204,080人(-87) 男 101,838人(-91) 女 102,242人(+4) ■世帯 82,421(-14)

「市報くまがや」3月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

平成24年(2012)3月 市報くまがや